

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果・分析

南伊勢町
令和5年11月

本町では、教育施策や学校における指導方法の工夫改善につなげるため、これまでも、町学力向上委員会等で、児童・生徒の学力・学習状況を把握し、課題について検証してまいりました。今年度も、全小・中学校において、文部科学省が実施する全国学力・学習状況調査を通して、教科の概要とともに、児童・生徒の意識調査から学習に対する興味・関心や生活習慣・学習習慣等に見られる課題について分析を行いました。

本町の教育が目指すところは、「生きる力」の育成という理念のもと、「知」「徳」「体」の調和のとれた教育活動を充実させ、『自らの夢に向かって、心豊かにたくましく生き抜く子どもの育成』です。

各学校において、1人1台の学習用端末を効果的に活用しながら、子どもの学力向上につながる「魅力ある授業づくり」等、具体的な指導方法の工夫改善を図るとともに、教育委員会としましても、調査結果の分析を各学校の授業研究を支援する体制づくり等、教育施策に反映させ、確かな学力を育む取組を積極的に進めてまいります。

教科に関する調査の結果・分析

(1) 本町における特徴的な傾向

<小学校国語>

○強み

・問題1三(1)ウ

平均正答率 78.4% (三重県 69.5%、全国 72.6%)

無解答率 0.0% (三重県 5.4%、全国 6.7%)

学年別漢字配当表に示されている漢字(期間)を文の中で正しく使うことができます。

・問題3一(1)

平均正答率 83.8% (三重県 73.9%、全国 73.6%)

無解答率 0.0% (三重県 2.0%、全国 3.7%)

必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることができます。

・問題3三

平均正答率 73.0% (三重県 58.6%、全国 57.6%)

無解答率 0.0% (三重県 6.6%、全国 9.5%)

日常よく使われる敬語を理解することができます。

○弱み

・問題 1 二

平均正答率 37.8% (三重県 26.0%、全国 26.7%)

無解答率 2.7% (三重県 6.8%、全国 7.1%)

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力をつける必要があります。

・問題 1 三 (1) ア

平均正答率 48.6% (三重県 52.2%、全国 52.8%)

無解答率 2.7% (三重県 3.9%、全国 4.8%)

学年別漢字配当表に示されている漢字 (意外) を文の中で正しく使う力をつける必要があります。

・問題 2 一

平均正答率 89.2% (三重県 90.1%、全国 90.0%)

無解答率 0.0% (三重県 0.6%、全国 1.2%)

目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることや日常よく使われる敬語を理解する力はついてきましたが、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力をつける必要があります。学習指導に当たっては、伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいかを児童が考えられるようにすることが大切です。

<小学校算数>

○強み

問題 1 (4)

平均正答率 91.9% (三重県 81.9%、全国 80.8%)

無解答率 0.0% (三重県 0.8%、全国 1.2%)

一の位が 0 の二つの 2 位数について、乗法の計算をすることができます。

問題 2 (1)

平均正答率 86.5% (三重県 60.9%、全国 59.8%)

無解答率 0.0% (三重県 0.5%、全国 0.7%)

台形の意味や性質について理解できています。

問題 4 (3)

平均正答率 70.3% (三重県 54.9%、全国 56.2%)

無解答率 5.4% (三重県 13.7%、全国 13.8%)

示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することができます。

○弱み

・問題 2 (3)

平均正答率 29.7% (三重県 23.2%、全国 24.9%)

無解答率 2.7% (三重県 3.0%、全国 3.7%)

正三角形の意味や性質について理解する力をつける必要があります。

・問題 2 (4)

平均正答率 13.5% (三重県 15.5%、全国 20.8%)

無解答率 2.7% (三重県 3.4%、全国 4.0%)

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する力をつける必要があります。

・問題 3 (4)

平均正答率 48.6% (三重県 46.6%、全国 47.6%)

無解答率 0.0% (三重県 3.3%、全国 3.9%)

(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

○目的に応じて、示された複数のグラフから、データの特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりする力はついてきましたが、基本図形の面積の公式の意味を理解し活用できる力をつける必要があります。学習指導に当たっては、観察や構成などの活動を通して、直線の平行や垂直の関係と、図形を構成する要素などを関連付けて、図形の性質や図形の計量について考察できるようにすることが大切です。

<中学校国語>

○強み

・問題 1 四

平均正答率 84.8% (三重県 82.3%、全国 82.5%)

無解答率 6.5% (三重県 10.0%、全国 10.8%)

聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができます。

・問題 3 三

平均正答率 76.1% (三重県 59.6%、全国 61.8%)

無解答率 0.0% (三重県 2.3%、全国 2.1%)

具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができています。

・問題 4 一

平均正答率 87.0% (三重県 79.3%、全国 82.5%)

無解答率 2.2% (三重県 3.9%、全国 3.6%)

歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができています。

○弱み

・問題 1 三

平均正答率 63.0% (三重県 76.9%、全国 76.6%)

無解答率 0.0% (三重県 0.2%、全国 0.2%)

話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問する力をつける必要があります。

・問題 2 四

平均正答率 58.7% (三重県 68.7%、全国 67.5%)

無解答率 2.2% (三重県 3.9%、全国 3.9%)

文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力をつける必要があります。

・問題 3 二

平均正答率 43.5% (三重県 40.2%、全国 43.9%)

無解答率 4.3% (三重県 10.9%、全国 10.7%)

文脈に即して漢字（押し量って）を正しく書く力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

○聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめる力や具体と抽象など情報と情報との関係について理解する力はついてきましたが、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力をつける必要があります。学習指導に当たっては、観点を明確にして複数の文章を比較しながら読んだり、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけたりで、物事に対する新たな視点をもてるようにすることが大切です。

<中学校数学>

○強み

・問題 2

平均正答率 82.6% (三重県 83.0%、全国 80.5%)

無解答率 4.3% (三重県 3.4%、全国 4.0%)

数と整式の乗法の計算ができています。

・問題 6 (1)

平均正答率 89.1% (三重県 88.0%、全国 88.9%)

無解答率 2.2% (三重県 2.3%、全国 2.4%)

問題場面における考察の対象を明確に捉えることができています。

・問題 8 (3)

平均正答率 52.2% (三重県 44.5%、全国 42.8%)

無解答率 10.9% (三重県 12.1%、全国 13.2%)

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができています。

○弱み

・問題 1

平均正答率 39.1% (三重県 50.4%、全国 46.1%)

無解答率 0.0% (三重県 0.1%、全国 0.1%)

自然数の意味を理解する力をつける必要があります。

・問題 7 (2)

平均正答率 23.9% (三重県 34.4%、全国 33.6%)

無解答率 15.2% (三重県 21.1%、全国 22.8%)

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力をつける必要があります。

・問題 9 (1)

平均正答率 19.6% (三重県 31.9%、全国 32.1%)

無解答率 30.4% (三重県 23.0%、全国 24.7%)

ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

○数と整式の乗法の計算や問題場面における考察の対象を明確に捉えることはできていますが、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる力をつける必要があります。学習指導に当た

っては、日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるように指導し、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の活動を充実させることが大切です。

<中学校英語>

○強み

・問題5 (1)

平均正答率 58.7% (三重県 55.3%、全国 56.0%)

無解答率 0.0% (三重県 0.3%、全国 0.3%)

情報を正確に読み取ることができています。

・問題5 (2)

平均正答率 73.9% (三重県 66.3%、全国 64.5%)

無解答率 0.0% (三重県 0.2%、全国 0.3%)

「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言葉の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができています。

○弱み

・問題8 (2)

平均正答率 13.0% (三重県 18.6%、全国 19.5%)

無解答率 28.3% (三重県 27.6%、全国 29.3%)

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く力をつける必要があります。

・問題9 (1) ①

平均正答率 26.1% (三重県 40.7%、全国 40.4%)

無解答率 0.0% (三重県 5.8%、全国 6.6%)

未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書く力をつける必要があります。

・問題9 (2)

平均正答率 13.0% (三重県 28.0%、全国 29.0%)

無解答率 23.9% (三重県 23.1%、全国 24.5%)

「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書く力をつける必要があります。

■全体の傾向から見られる課題

○情報を正確に読み取ることや「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言葉の働きを理解し事実と考えを区別して読むことなど、「読むこと」の力は他と比べると身につけていますが、問われている表現を正確に書くことや読んだことについて、考えとその理由を書くことができる力をつける必要があります。学習指導に当たっては、意味内容の伝達のみにとどまるのではなく、生徒自身が英語表現の誤りに気づき、修正を加えながら正確さを高めていく必要があります。また、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切です。

(2) 学習への関心・意欲・態度

質問項目		南伊勢町	三重県	全国
国語の勉強は好きですか	小	45.9	57.2	61.5
	中	60.5	60.0	61.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	小	89.1	86.1	85.7
	中	95.9	83.3	80.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	小	97.3	92.7	92.8
	中	100.0	89.9	88.7
算数・数学の勉強は好きですか	小	72.9	62.0	61.4
	中	56.3	59.8	56.7
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	小	81.1	83.3	81.2
	中	83.3	79.1	73.3
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つとおもいますか	小	97.3	93.8	93.3
	中	79.2	78.0	75.8
英語の勉強は好きですか	小	89.2	68.6	69.3
	中	47.9	51.0	51.9
英語の授業の内容はよく分かりますか	中	70.8	67.6	63.9
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つとおもいますか	中	95.8	88.2	87.5
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいとおもいますか	小	59.4	52.9	52.5
	中	25.0	36.4	36.7

※上記については「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した数値

<全体的傾向と課題>

- 国語について、小学校での国語科への関心が県や国の平均と比べ低いのが課題です。しかし、理解度や将来の必要感は高い傾向にあります。中学校での国語科の理解度や将来の必要感は非常に高い傾向にあります。
- 算数・数学について、小学校での算数科への関心が県や国の平均と比べ非常に高いです。また、小中学校ともに授業での理解度は高い傾向にあります。しかし、中学校での数学科への関心や将来の必要感が小学校に比べ大きく下がっているのが課題です。
- 英語について、小学校での英語科への関心は県や国の平均と比べ非常に高いですが、中学校での英語科への関心は県や国の平均と比べ少し下回っています。中学校での英語科への関心が小学校に比べ大きく下がっているのが課題です。中学校での英語の将来の必要感は非常に高いですが、将来、自分が積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思う割合は県や国の平均と比べ大きく下回っています。